



小田切部長（右手前）と懇談する
党高知県議団（左側）＝1日、県庁

高 知 引き下げ反対、国に

生活保護基準 県に共産党県議団

国の来年度予算編成で生活保護基準の切り下げの動きが強まっていることから、日本共産党高知県議団は1日、高知県に対して、切り下げをしないよう国に働きかけることを求める申し入れを行いました。地域福祉部の小田切泰禎部長らが応対しました。

これまで県は、「保護が必要な方が保護を受けられないことはあってはならない」（昨

年12月議会で尾崎正直知事）、「基準引き下げは）県民生活に影響がでてくる」（同9月議会・小田切部長）と、生活保護切り下げに懸念を示していました。

県議団は「社会保障審議会の報告では、若い多人数世帯の引き下げが示唆されている。これが実施されると子育て世帯への影響が大きく、子どもの貧困をさらに悪化させ、貧困

引き下げは他の分野へも影響があるとして「申し入れの趣旨は分かる。現段階では国から具体的な説明はない。国の動向の情報収集にも努めていきたい」とこたえました。

の連鎖を生みかねない」と要請しました。小田切部長は、基準

引き下げは他の分野へも影響があるとして「申し入れの趣旨は分かる。現段階では国から具体的な説明はない。国の動向の情報収集にも努めていきたい」とこたえました。